

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	地震荷重小委員会		主 査 名：林 康裕 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：福和伸夫
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築物の性能設計法の実質化を可能とする地震荷重評価法の構築を目指す。 ・初年度：新しい地震荷重設定法の構築に向けた幅広い情報収集と討議を行う。 ・2年度：幅広い情報収集と課題抽出を行うとともに、シンポジウムを企画する。 ・3年度：地震荷重の設定法に関する種々の新しい取り組みをまとめた出版原稿を作成する。 ・4年度：出版原稿の作成を行い、PD の企画・実施を行う。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無し		
	主査：林康裕(京都大学) 幹事：壇一男(清水建設)・石原直(国土技術政策総合研究所) 委員：大川出(建築研究所)・森保宏(名古屋大学)・上林宏敏(京都大学)・岡野創(小堀鐸二研)・榎 博(NTT)・大西良広(京都大学)・楠浩一(横浜国立大学)・麻里哲広(北海道大学)・神野達夫(広島大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2010 年度予算	470,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：—	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 4 年目の地震荷重関係出版物の発刊に向けて、WG の設置(予定)を行った。 2. 2011 年度開催の建築学会 PD の企画提案を行った。 3. 新しい地震荷重設定法の課題抽出を行うための情報交換を行えた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 地震荷重運営委員会や基礎構造運営委員会と活動内容の連絡調整を継続している(年 2 回)。 2. 出版企画に際し、運営委員会内で調整を行った。